

平成 18 年度
予算

協働による住民主役のまま 効率的な行財政基盤をも

山陽小野田市の平成 18 年度の予算が決まりましたので、お知らせします。

今年度は総額で 706 億 2,684 万 7 千円となり、うち一般会計は前年度比 5.5% 減の 258 億 510 万円となりました。

本年度は、「改革元年予算」という位置づけのもと、手数料の一部改定や売却可能な財産の積極的な売払いおよび一般財源不足に対応する地方債借り入れのための条件整備に努める一方、歳出についても公共施設の維持管理費、外部委託事務の見直しなど物件費の更なる精査を行うとともに、職員給与カットおよび扶助費の見直し等義務的経費の抑制、補助金・負担金の削減などを行った「超緊縮型の予算」です。

少なからず市民のみなさんへ負担を強いることとなり、市民サービスも一部低下せざるを得ない予算となりましたが、財政的に一番厳しい数年間を乗り切った後には、スリム化した効率的な行財政運営を実現していきますので、何卒ご理解ご協力をお願いします。

【問い合わせ先】 財政課 (☎ 82-1131)

平成 18 年度 各会計予算額

会計名		予算額	対前年度増減率
一 般 会 計		258 億 510 万円	△ 5.5%
特別 会計	訪問看護ステーション事業	3,459 万 6 千円	5.3%
	土 地 取 得	596 万 4 千円	△ 92.4%
	駐 車 場 事 業	4,812 万 5 千円	△ 6.0%
	国 民 健 康 保 険	69 億 839 万 4 千円	8.5%
	介 護 保 険	39 億 2,539 万 6 千円	10.3%
	老 人 医 療	86 億 1,133 万 7 千円	△ 0.5%
	地方卸売市場事業	1,483 万 5 千円	△ 16.5%
	下 水 道 事 業	36 億 6,107 万 9 千円	△ 7.3%
	農業集落排水事業	8,767 万 3 千円	△ 0.6%
	小型自動車競走事業	131 億 5,529 万 7 千円	△ 3.0%
特別会計の計		364 億 5,269 万 6 千円	0.2%
公営 企業 会計	水 道 事 業	22 億 7,656 万 8 千円	△ 2.3%
	工 業 用 水 道 事 業	4 億 908 万 7 千円	13.9%
	病 院 事 業	56 億 8,339 万 6 千円	△ 7.8%
	公営企業会計の計	83 億 6,905 万 1 千円	△ 5.4%
総 予 算 額		706 億 2,684 万 7 千円	△ 2.6%

予算編成にあたっての

市 長 施 政 方 針

(3月定例議会での演説より抜粋)

【市民協働のまちづくりを念頭に、更なる行財政改革をすすめます】



私が市政を担当して、10 か月が経ちました。その間、私は当初からの基本姿勢である「公平・公正・公明正大」のもと、「市民参加による市民本位のまちづくり」を推進し、「対話の日」や「市政説明会」などを通して、市民の声に耳を傾け、十分な説明責任を果たしながら、開かれた行政運営を目指してきました。昨年設置した「提言箱」に加えて、今年度は政策に対しての意見公募（パブリックコメント）の制度化に取り組み、市が抱える様々な課題についても、市民との協働のまちづくりを念頭に、みなさんの知恵とアイデアを借りながら解決に向けて努めて参ります。

このような状況の中、山陽小野田市においては昨年 7 月に「行財政改革推進本部」を立ち上げ、短期的、中・長期的改革事項の検討を鋭意行っており、議会からも先般、行財政改革に向けての中間報告としてご提言をいただいたところです。本年度も、これらを踏まえながら、引き続き全庁的な行財政改革に取り組むこととし、職員提案制度の活用や、市民の建設的なご提案等を参考としながら、市民のみなさんの理解が得られるような行財政改革を推進して参ります。

【住み良さの実感できるまちづくりを目指します】

山口県では「住み良さ日本一」の県づくりを進めております。山陽小野田市も各分野において地域のいろいろな主体がスクラムを組んで、長所を伸ばし、不十分な部分は補う取組みを進めることで、市民生活のあらゆる面でバランスのとれた住み良さを創造し、市民だれもが様々な生活環境の中で住み良さを実感できる山陽小野田市を実現したいと考えます。